

最近G20と言う言葉をし
ばしばし耳にする。つい先日、
4月17日にも20か国・地域
(G20) 財務相・中央銀行
総裁会議が閉幕したばかり
なので多くの人がこの言葉
を耳にしたに違いない。G
20という言葉が生まれたの
は1999年12月に第1回
G20財務相・中央銀行総裁
会議が開かれたときのこと
だろうが、広く知られるよ
うになったのはそれほど昔
ではなく、2008年11月
14日に第1回20か国・地域
(G20) 首脳会合が開催さ

国際政策協調の舞台としてのG20

れたときのことであろう。
この会合では世界金融危機
への対策が討議された。特
筆すべきは先進7か国(G
7) 各国の首脳と欧州委員
会委員長のみならず、新興
経済国12か国各国の首脳が
出席し合計20か国・地域の
首脳らによって世界的な金
融問題が討議された、とい
うことである。

中国、インド、ブラジル、
メキシコなどの新興経済国
の首脳を加えてこうした金
融問題が討議されたことは
首脳会合の歴史に鑑みると
異例である。というのもこ
れまでこうした金融問題に
関する政策協調の討議は主
としてG7首脳会合で行わ
れてきたためである。たと
えばアジア通貨危機に関し
景には新興経済国12か国の
世界経済への影響がG7諸
国に対して相対的に上昇し
たことが考えられる。事実、
1998年の新興経済国12
か国のGDPはG7のGD
Pの23・8%に過ぎなかつ
たが2008年には44・6
%にまで上昇した。

G20が金融サミットも
よばれることから金融問
題に関しては先進7か国あ
るいはロシアを加えた主要
8か国だけで対応しきれな
くなったことがうかがえ
る。また、G20の発足以降
はG8の議題も変化した。
第36回(2010年6月)
では北朝鮮やイランの核開
発問題、第37回(2011
年5月)では核開発問題や
日本の原子力発電所の問
題、第38回(2012年5
月)では石油市場や食料安
全保障問題、第39回(20
13年6月)では貿易や租
税に関する問題が取りあげ
られ、G20発足以降は金融
問題が取りあげられること
は少なくなった。一方のG
20は第4回(2010年6
月)では銀行税、第5回
(2010年11月)では金
融危機後の成長と金融規
制、第6回(2011年11
月)では国際通貨システム、
第7回(2012年6月)
では主要国以外からの国際
通貨基金への出資、第8回
(2013年9月)では急
激な円安、といったもっぱ
ら国際的な金融問題を主要
な議題として取りあげてい
る。

新興国の影響 世界経済で強まる



おかの えいじ 国
際マクロ経済学、国際
金融論、金融政策、マ
クロ経済学。一橋大学
大学院商学研究科博士
後期課程修了、博士
(商学)。1970年
生まれ。

名古屋市立大学大学院
経済学研究科教授

岡野 衛士

ては第24回(1998年5
月)、インフレを伴わない
経済成長や景気回復につい
ては第16回(1990年7
月)、第15回(1989年
7月)、第12回(1986
年5月)、第11回(198
5年5月)、第10回(19
84年6月)、第9回(1
983年5月)、インフレ
抑制に関しては第6回(1
980年6月)の、G7首
脳会合で討議された。
新興経済国首脳を首脳会
合に迎え入れようとした背

